

昭和26年(1951)2月17日(土曜日)

## 小説 雲遙かなり

伊納川 銀

神と悪魔

三

「次長變ですぜ。」

芳川がきよいこんで次

長室にとびこんで来た。

「何が?」

「とくに角午後次長に逢

にくるといふんですがね

歸りに金を持たしてよこ

うとしたんですよ。こ

れは何ですかと聞いたら

「それでどうした?」

「苦難の色がみる／＼廣ま

った。」

「おどもいいから持つて行

けといふんで、廣告です

かと聞いたら、まあそん

どもんだといふんですが

ね。これは明らかに何か

ありますね。」

「それは違うんだ君。新

聞といふものはね。天下

の公器、社会の木たくて

あると共にね。一つの營

利事業でもあるのだよ新

聞といたりました。」

事は實らん。悪かつたら

んだ。みんな讀者の爲な

ね。」

「しかし愛ですね、たと

れば事たりとする

が日本と同じ内容の講

和條約を結ぶ場合

て日本の自主権を認め

る場合

和と同じ、この場合米

英、など多數國が日本

と講和條約を結ぶ

と講和條約を結ぶので

正確を期するため多數

が日本と講和條約を結

ぶ場合

單獨講和

戰國と講和條約を結ぶ

と講和條約を結ぶので

正確を期するため多數

が日本と講和條約を結

ぶ場合

第七太陽丸が十六日早朝

より實施しているが、來

る二十一日中之作全底曳

漁船が出動する予定

第三太陽丸救助空し

## 乗組員遂に絶望か

發行所  
磐城日新聞社  
福島縣小名浜郡猪籠町51  
電話番号21-9  
編集人高瀬芳郎モノサシ  
マカリ浜生堂  
休温計 小資電  
147番一日智識  
講和々々とその形式に  
ついてはいろいろにい  
われているがそれを簡  
單に説明すれば次のよ  
うである。  
ソ連、中國を含む極東  
委員会十三ヶ國の全部  
が日本と講和條約を結  
ぶ場合講和々々とその形式に  
ついてはいろいろにい  
われているがそれを簡  
單に説明すれば次のよ  
うである。  
國(中共)を除く極東  
委員会構成する諸國  
が日本と講和條約を結  
ぶ場合

## 成人式舉行

小名濱第一小で

